

総務文教常任委員会資料

令和7年11月4日

教育委員会事務局

こども未来部学校教育課

目 次

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果等について

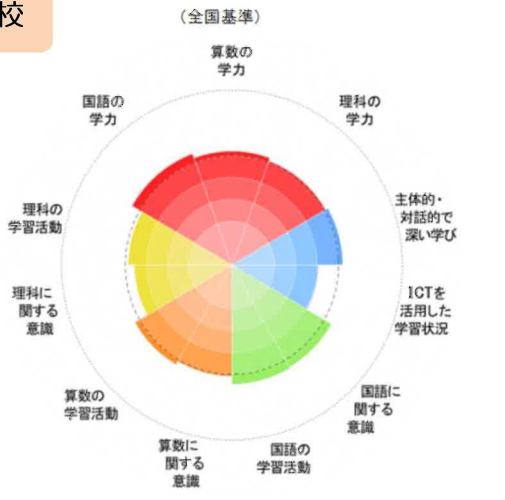
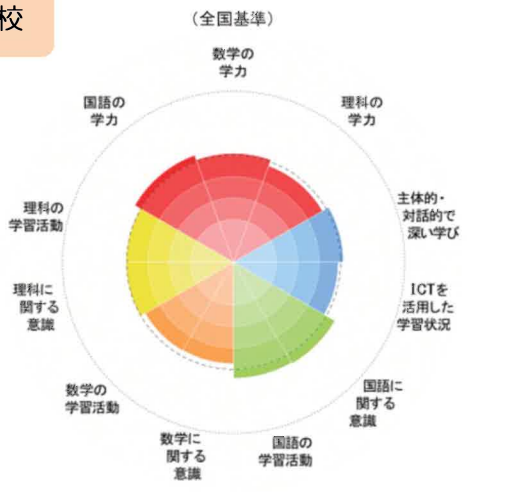
1	全国学力・学習状況調査の結果から・・・・・・・・・・	1
	(1) 教科に関する調査結果・・・・・・・・・・	1
	(2) 定着傾向・課題が見られた問題例・・・・・・・・	2～3
	(3) 児童生徒質問紙より・・・・・・・・・・	4
	(4) 児童生徒質問紙調査結果概要【肯定的回答の割合】・・	5～6
	(5) 学力向上・学習状況改善に向けての取組・・・・・・・・	7
2	加東市の結果及び考察・・・・・・・・・・	8
3	加東市総合学力調査について・・・・・・・・・・	9
	(別紙) 引継ぎシート・・・・・・・・・・	10～11

1 全国学力・学習状況調査の結果から

令和7年4月17日（中学校理科4月14日～16日）に、全国学力・学習状況調査が、6年生と9年生（中学3年生）を対象に実施されました。加東市教育委員会では、子どもたちに「豊かな学び」と「確かな学力」を育むために、調査の結果を分析し今後の教育指導の充実や学習状況の改善を図ります。

（1）教科に関する調査結果（全国平均との比較）

教科	国語		算数	数学	理科
校種	小・中学校・義務教育学校		小学校 義務教育学校	中学校 義務教育学校	小学校・中学校 義務教育学校
学習指導要領の領域	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	数と計算	数と式	「エネルギー」
		情報の扱い方に関する事項	図形	図形	「粒子」
		我が国の言語文化に関する事項	測定	関数	「生命」
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	変化と関係	データの活用	「地球」
		書くこと	データの活用		
		読むこと			

小学校  ※チャート図の内側点線は、全国平均を表しています。	国語	平均正答率は全国と同程度でした。 「書くこと」「読むこと」領域に関する学習内容に課題が見られました。
	算数	平均正答率は全国と同程度でした。 「数と計算」領域に関する学習内容に課題が見られました。
	理科	平均正答率は全国と同程度でした。 「エネルギー」「粒子」を柱とする領域に関する学習内容に課題が見られました。
中学校  ※チャート図の内側点線は、全国平均を表しています。	国語	平均正答率は全国と同程度でした。 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」領域に関する学習内容に課題が見られました。
	数学	平均正答率は全国と同程度でした。 「数と式」領域に関する学習内容に課題が見られました。
	理科	IRTスコアは全国と同程度でした。 （IRTとは、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じ尺度で比較できるもので、全国平均値は500） 「粒子」「地球」を柱とする領域に関する学習内容に課題が見られました。

※ 全国の平均正答率との差が5ポイント未満の場合は「全国と同程度」、5ポイント以上の場合は「全国よりも高い・低い」と表現しています。

※ 本調査の結果は、学力の特定の一部、学校における教育活動の一側面です。

(2) 定着傾向・課題がみられた問題例（教科に関する調査結果より）

小学校

【問題番号 加東市児童生徒の正答率（％）】

国語

定着傾向がみられた問題例

- ◆【木村さんのメモ】の空欄Aに入る適切な言葉を【資料2】の中から書き抜く

【3二(1) 80.3%】

- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができています。

課題がみられた問題例

- ◆【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する

【3三(1) 38.4%】

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題が見られました。

算数

定着傾向がみられた問題例

- ◆ $1/2 + 1/3$ を計算する

【3(4) 87.5%】

- ・異分母の分数の下方の計算をすることができています。

課題がみられた問題例

- ◆ $3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く

【3(2) 17.9%】

- ・共通する単位分数を見いだすこと、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを説明することに課題が見られました。

理科

定着傾向がみられた問題例

- ◆赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く 【2(1) 76.3%】

- ・変える条件と変えない条件を整理しながら、量を正しく設定した解決の方法を発想し、表現することができています。

課題がみられた問題例

- ◆アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ

【2(1) 9.0%】

- ・電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識が身に付いていないことに課題が見られました。

国語

定着傾向がみられた問題例

- ◆「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く

【3二 89.1％】

- 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができます。

課題がみられた問題例

- ◆「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く

【3四 15.7％】

- 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについて課題が見られました。

数学

定着傾向がみられた問題例

- ◆Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く

【7(1) 75.3％】

- 必ず起こる事柄の確立について理解できています。

課題がみられた問題例

- ◆1から9までの数の中から素数を全て選ぶ

【1 19.6％】

- 素数の意味や定義、整数の性質の理解に課題が見られました。

理科

定着傾向がみられた問題例

- ◆抵抗に関する知識を手掛かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する

【3(2) 96.2％】

- 電気回路における抵抗の働きについての知識が概念として身に付いています。

課題がみられた問題例

- ◆Aさんの考えを肯定するためにはボーリング地点③の結果がどのようなになればよいかを判断し、青色の地層を移動させ、ボーリング地点③の結果をモデルで示す

【8(2) 13.0％】

- 時間的・空間的な見方を働かせて、ボーリング調査の結果を基に地層の広がりを検討して表現することに課題が見られました。

（３）児童生徒質問紙より（加東市の子どもたちの状況）

加東市の子どもたちの特徴とみられるよい状況の３項目（過去３年の経年比較）

◆朝食を毎日食べていますか。

	R 5	R 6	R 7
小6	95.7%	97.3%	96.7%
中3	94.0%	95.9%	93.6%

〔児童生徒・保護者の方へ〕

朝食を食べることは、心身ともに健やかな成長を促すために、大切なことです。エネルギーが足りないと、授業中の集中力が続かなくなったり、イライラしやすくなったりしますので、楽しい学校生活を送るために、毎朝、朝食を食べましょう。

◆人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

	R 5	R 6	R 7
小6	95.7%	97.6%	97.8%
中3	98.7%	97.9%	98.1%

〔児童生徒・保護者の方へ〕

人の役に立ちたいと肯定的に回答する児童生徒は多いです。自己有用感や規範意識の高まりが、向上心につながります。自分も相手も大切に考えて、より良い社会を目指す一員になるよう、日々の生活に取り組みましょう。

◆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

	R 5	R 6	R 7
小6	96.5%	99.0%	98.9%
中3	98.3%	96.9%	98.5%

〔児童生徒・保護者の方へ〕

いじめは、どの学校でも起こり得ます。児童生徒も教員もいじめを許さない気持ちで、学校生活を過ごしましょう。困った時は、友達や大人に相談して、一人で抱え込まないようにしましょう。

(4) 児童生徒質問紙調査結果概要【肯定的回答の割合】(4段階評価の上位2段階)

分類	質問項目	学校種	加東市 (%)	全国 (%)
生活習慣	朝食を毎日食べていますか。	小6	96.7	93.7
		中3	93.6	91.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	小6	85.3	81.9
		中3	84.6	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	小6	93.7	91.0
		中3	94.0	92.6
自己有用感	自分には、よいところがあると思いますか。	小6	85.0	86.9
		中3	87.3	86.2
	先生は、あなたの良い所を認めてくれていると思いますか。	小6	91.6	92.2
		中3	92.5	92.2
	将来の夢や目標を持っていますか。	小6	81.3	83.1
		中3	68.6	67.5
規範意識	人が困っているときは、進んで助けていますか。	小6	94.5	93.7
		中3	91.4	90.9
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか。	小6	98.9	97.2
		中3	98.5	95.9
	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	小6	76.9	70.6
		中3	80.9	73.2
学習習慣	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	小6	97.8	96.4
		中3	98.1	96.6
	学校に行くのは楽しいと思いますか。	小6	89.0	86.5
		中3	91.4	86.1
	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	小6	80.9	81.7
		中3	77.9	77.5
家庭生活	普段(月～金)、どれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾・家庭教師含む)【1時間以上】	小6	57.9	54.0
		中3	61.8	61.6
	学校以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしていますか。【30分以上】	小6	29.7	31.1
		中3	23.9	21.4
	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)。【100冊以上】	小6	24.9	30.9
		中3	28.5	27.2
地域の関心や支援	新聞を読んでいますか。【月に3回以上】	小6	19.8	22.0
		中3	14.5	13.5
	読書は好きですか。	小6	70.0	69.7
		中3	62.1	61.6
	地域の大人に、授業や放課後などで体験活動にかかわってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)	小6	44.3	39.4
		中3	41.9	29.5
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	小6	81.7	81.3
		中3	83.9	75.3

分類	質問項目	学校種	加東市 (%)	全国 (%)
ICT活用	5年生まで、中1、中2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 【週1回以上】	小6	74.0	89.7
		中3	94.3	92.2
	PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。	小6	75.1	81.8
		中3	80.9	83.6
	インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。	小6	81.3	89.8
		中3	87.3	91.5
	PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。	小6	59.0	69.3
		中3	61.1	63.3
主体的・深い学び	PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。	小6	66.0	76.7
		中3	76.7	76.6
	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	小6	74.0	80.3
		中3	73.8	77.7
	各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	小6	77.3	77.8
		中3	65.9	70.6
	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。	小6	80.6	82.5
		中3	77.6	74.8
学習について	国語の勉強は好きですか。	小6	59.7	58.3
		中3	68.6	57.9
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	小6	94.5	90.4
		中3	92.5	88.3
	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか。	小6	82.0	81.8
	国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか。	小6	78.0	79.1
	国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか。	中3	77.5	74.0
	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか。	中3	77.5	73.6
	算数・数学の勉強は好きですか。	小6	58.9	57.9
		中3	46.5	53.8
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	小6	93.1	91.6
		中3	79.4	75.2
	算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか。	小6	83.2	83.3
		中3	66.3	57.9
	算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。	小6	66.7	65.5
		中3	51.3	58.6
	理科の勉強は好きですか。	小6	66.0	80.1
		中3	60.0	63.8
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	小6	70.7	79.9
		中3	65.9	63.4
	理科の授業で学習したこと（知識）を普段の生活の中で活用できていますか。	小6	54.9	63.2
		中3	58.4	54.7
	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか。	小6	85.7	92.4
		中3	80.5	85.8

(5) 学力向上・学習状況改善に向けての取組

学力・学習状況調査結果の活用

- 各学校、学力向上プロジェクト委員会による全国学力・学習状況調査（小6・中3）、総合学力調査（小3～中2）結果の分析、活用を通じた授業改善

教員の指導力向上

- 加東市学力向上研究モデル事業を実施
- 各学校における授業研究、校内研修
- 各種研修会への積極的な参加
- 外部講師の招聘



教員の授業研究

家庭学習、自主学習の充実

- 「家庭学習の手引き」の作成、活用
- 自主学習室「加東スタディライフ」の実施（小5～6、中3）
- 放課後学習（ひょうごがんばり学びタイム）
- 漢検・算検チャレンジ（対象：市立小中学校・義務教育学校の小3～中3、1人年1回検定料）

キャリア教育・体験活動の充実

- かとう夢授業
- トライやる・ウィーク
- 体験型環境学習
- 芸術鑑賞活動



かとう夢授業

子どもたちに
豊かな学びと
確かな学力を
育みます

外国語教育の充実

- 担任・英語担当教員とALTとのチームティーチング
- 加東市独自の英語検定「かとう英語ライセンス検定」の実施、「レッスンブック」「はば単」（兵庫県教育委員会作成の英単語集）の活用
- 英検チャレンジ【実用英語技能検定（英検）】
（対象：市立中学校・義務教育学校後期課程の生徒、1人年1回検定料の助成）
- 「わくわく英語村」の実施（市立小中学校・義務教育学校）



ALTと外国語の授業

授業改善の取組

- 電子黒板やタブレットパソコン等、ICT機器の効果的な活用
- 授業における「見通し・振り返り」活動の充実
- ペア、グループ等による協働学習の推進
（協働学習アプリの活用）
- 言語活動の充実
（話し合い活動や書くことの習慣化を意識した授業づくり）
- 基礎・基本の定着をめざした繰り返し学習
（1人1台パソコン・ドリル学習アプリの活用）
- 小学校から中学校、中学校から小学校への出前授業



タブレットパソコン等の活用



出前授業

保護者の皆様へ

上記は、学力向上・学習状況改善に向けた取組の一部です。様々な取組を通して加東市の子どもに「豊かな学び」と「確かな学力」を育てていきます。

ご家庭では、児童生徒の望ましい生活習慣や学習習慣の定着について、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 加東市の結果及び考察

○小学校 国語

結果	平均正答率は全国と同程度
考察	課 題：「書くこと」「読むこと」領域に関する学習内容 手立て：教科書以外に、メディア等で言葉や図表を結び付けて説明しているものを教材として積極的に活用する。また、丸や四角で囲んだり、線などでつないだりするなどして、どの部分と結び付くのかを視覚的に明らかにしながら読む指導を行う。

○小学校 算数

結果	平均正答率は全国と同程度
考察	課 題：「数と計算」領域に関する学習内容 手立て：小数や分数の計算では、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に注目し、構造の共通点を見つけさせたり、整数の計算に帰着して考察したりできるようにする。その際、数直線を用いて視覚的に仕組みを理解させ、また、自らも図等を使って説明させる。

○小学校 理科

結果	平均正答率は全国と同程度
考察	課 題：「エネルギー」「粒子」を柱とする領域に関する学習内容 手立て：実験では、考察の時間を大切に、日常生活と結び付けることができるよう、具体的な言葉を例示するなどしてまとめさせる。また、計画を振り返ったり修正したりする活動や、言葉や図から装置を組み立てるような活動を取り入れる。

○中学校 国語

結果	平均正答率は全国と同程度
考察	課 題：「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」領域に関する学習内容 手立て：漢字や言葉の意味の理解については、定期的な小テストを継続する。また、文章の構成や展開について考えるために、あとの展開を予測しながら作品を読んだり、筆者の意図について考えたりする活動を行う。ペアやグループで意見を出し合うことも有効である。

○中学校 数学

結果	平均正答率は全国と同程度
考察	課 題：「数と式」領域に関する学習内容 手立て：数学の各定義、整数の性質等を指導する際は、一時的な学習に終わらず、その後の領域等でも再確認する場面を設定する。基礎基本の定着を図るために、反復学習も大切にする。

○中学校 理科

- ・本年度より 1 人 1 台端末による調査が実施されました。
- ・各学校により実施日が異なり、違う問題が出題されます。
- ・結果は IRT スコアで算出されます。
- ・IRT（項目反応理論）とは、1 人 1 人の問題の正誤状況を活用し、調査に取り組んだ人の学力を測定する方法です。IRT スコアは、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じ尺度で比較できるもので、全国の平均値は 500 です。

結果	IRT スコアを 100 に換算した場合、全国と同程度
考察	課 題：「粒子」「地球」を柱とする領域に関する学習内容 手立て：時間的・空間的な見方を働かせるために、複数の要素を比較する活動を設定し、根拠を基に他者に伝える活動を多く取り入れる。また、元素記号を取り扱う際には、日常的な場面での活用例を示すなど、実感できる学習場面を設定する等の授業デザインを行う。

3 加東市総合学力調査について

- ・加東市教育委員会では、令和4年度から総合学力調査（小学校3年生～中学校2年生）を導入し、年間を通じた学習定着の確認を行い、課題の分析と改善に向けた手立ての共有を組織的に行っています。
- ・12月に実施し、3学期には加東市総合学力調査の結果より正答率が低かった設問について復習を行い、既習学習の定着を図ります。個別の学習結果に基づき、自分の得意な内容、苦手な内容を知り、これからの学習に生かすよう声掛けをして、意識づけを強化します。
- ・総合学力調査の調査結果に基づき、ドリル学習アプリを活用して、苦手分野の復習を児童生徒に応じて行います。
- ・毎年学年毎に、「総合学力調査」および「全国学力学習状況調査」の結果を一体的に管理し、課題改善の取組を引き継いでいきます。

学校名 []

加東市総合学力調査 (国語) 引継ぎシート①【市教委提出用】

【市教委提出用】は、単年度の結果分析及び手立てが、ひと目で分かるように一覧表にしたものです。
 【校内保管用】の各学年のデータを貼り付けて【市教委提出用】を作成してください。

年度	令和()年度	令和()年度	令和()年度	令和(4)年度
学年	3年	4年	5年	6年 【全国学力学習状況調査】
指導者				
正答率	全体	(全国)	(全国)	(全国)
	言葉・情報・言語文化	(全国)	(全国)	(全国)
	話す・聞く	(全国)	(全国)	(全国)
	書く	(全国)	(全国)	(全国)
	読む	(全国)	(全国)	(全国)
(課題) 【3学期及び次年度への手立て】	観点別	① (成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】
	②	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】
	③	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】

学校名 []

加東市総合学力調査 (国語) 引継ぎシート②【市教委提出用】

【市教委提出用】は、単年度の結果分析及び手立てが、ひと目で分かるように一覧表にしたものです。
 【校内保管用】の各学年のデータを貼り付けて【市教委提出用】を作成してください。

年度	令和(4)年度	令和(5)年度	令和(6)年度	令和(7)年度
学年	6年 【総合学力調査】	中学1年・7年 【総合学力調査】	中学2年・8年 【総合学力調査】	中学3年・9年 【全国学力学習状況調査】
指導者				
正答率	全体			
	言葉・情報・言語文化			
	話す・聞く			
	書く			
	読む			
(課題) 【3学期及び次年度への手立て】	観点別	① (課題)「書く」のポイントが全国に比べて3.6ポイント低い。 【手立て】漢字の書きを重点的に学習させる。また、漢字の形や使い方に気をつけて何度も書くよう指導する。	(課題)「言葉・情報 言語文化」のポイントが全国に比べ、1.7ポイント低い。 【手立て】各教科等の学習や読書活動をする中で出会った言葉(同音異義語、同訓異字、慣用句、四字熟語、ことわざ、故事成語など)をカードやノートに整理させ、意味を確認するとともに、具体的な使い方を考えるなど語彙を増やす学習活動を充実させる。	(課題)「話す・聞く」のポイントが全国に比べ、0.7ポイント低い。話し合いでの司会者の役割を選ぶことや話し合いの続きの内容を選ぶ問題に課題がある。 【手立て】授業で「話し合い」での司会者の役割を確認したり、テーマに沿った話し合いをする学習活動を増やす。
	②	(課題)「言葉・情報 言語文化」のポイントが全国に比べ、3ポイント低い。 【手立て】言葉の使い方や由来について復習させる。また、和語・漢語・外来語や漢字の成り立ちについて、教科書を読み返して復習させる。	(課題)「話す・聞く」のポイントが全国に比べ、0.1ポイント低い。 【手立て】聞き手に分かる語句や文の使い方になっているか具体的な観点を示して指導し、ペアやグループで意見交流する学習活動をさせる。	(課題)「言葉・情報 言語文化」のポイントが全国に比べ、3.1ポイント上回っているが、漢字の読みと課題がある。 【手立て】既習漢字を復習する機会を増やすとともに、新出漢字の読み方や意味を確認し、具体的な使い方を確認するなど語彙を増やす学習活動を充実させる。
	③	(課題)「話す・聞く」のポイントが全国に比べ、1.3ポイント低い。 【手立て】授業などで事柄の順序を考えながら話すことを意識させるとともに、学校生活全般を通して、大事なことを落とさないように聞くよう指導していく。	(課題) 【手立て】	(課題) 【手立て】

学校名 XXXXXXXXXX加東市総合学力調査 **(算数・数学)** 引継ぎシート①【市教委提出用】

【市教委提出用】は、単年度の結果分析及び手立てが、ひと目で分かるように一覧表にしたものです。
 【校内保管用】の各学年のデータを貼り付けて【市教委提出用】を作成してください。

年度	令和(5)年度	令和(5)年度	令和(5)年度	令和(4)年度
学年	3年	4年	5年	6年 【全国学力学習状況調査】
担当者(授業者)				
正答率	全体	(全国)	(全国)	(全国)
	観点別 【】内は 中学校			
	数と計算【数と式】	(全国)	(全国)	(全国)
	図形【図形】	(全国)	(全国)	(全国)
	測定	(全国)	(全国)	(全国)
(課題) 【3学期 及び次 年度へ の手立 て】	項目の 数値な い時は 空欄	変化と関係【関数】	(全国)	(全国)
	データの活用 【データの活用】	(全国)	(全国)	(全国)
	①	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】
	②	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】
	③	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】	(成果や課題) 【手立て】

学校名 XXXXXXXXXX加東市総合学力調査 **(算数・数学)** 引継ぎシート②【市教委提出用】

【市教委提出用】は、単年度の結果分析及び手立てが、ひと目で分かるように一覧表にしたものです。
 【校内保管用】の各学年のデータを貼り付けて【市教委提出用】を作成してください。

年度	令和(4)年度	令和(5)年度	令和(6)年度	令和(7)年度
学年	6年 【総合学力調査】	中学1年・7年 【総合学力調査】	中学2年・8年 【総合学力調査】	中学3年・9年 【全国学力学習状況調査】
担当者(授業者)				
正答率	全体			
	観点別 【】内は 中学校			
	数と計算【数と式】			
	図形【図形】			
	測定			
(課題) 【3学期 及び次 年度へ の手立 て】	項目の 数値な い時は 空欄	変化と関係【関数】		
	データの活用 【データの活用】			
	①	(課題)円周率の意味について の理解が、全国よりも17ポイント 低い。 【手立て】言葉の意味をこまめに 確認して、意味を理解したうえで 計算するようにさせる。	(課題)正しいグラフを選ぶ問題 が全国よりも18ポイント低い。 【手立て】グラフの読み取り方を 確認して、そのグラフが何を表 しているか理解できるようにす る。	(課題)関数の分野において低 いところが見られた。 【手立て】グラフと式の関連や表 とグラフの関連などを意識しな がら考えさせる。
	②	(課題)%を使った割合の計算 が全国よりも13ポイント低い。 【手立て】図を用いて考えること を意識付けすることを通して、割 合の意味を理解させながら計算 させるようにする。	(課題)円周の長さを文字式で表 しているものを選ぶ問題が全国 よりも13ポイント低い。 【手立て】ことばの式と文字式の 関係や式の成り立ちを意識させ ながら、式を立てられるようにす る。	(課題)文字を用いた式の分野 において低いところが見られ た。 【手立て】教科書では規則性の 問題をあまり取り扱わないの で、飛び込み教材として活用 し、視野を広げていく活動も取り 入れる。
	③	(課題)空間図形についての設 問への正答率が、全国よりも10 ポイント低い。 【手立て】立体模型などの具体 物を多く用いて、回転などの操 作をイメージさせていく。	(課題) 【手立て】	(課題) 【手立て】